

地域連携 だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

「見た目(外見)」と同時に「働き(機能)」を
再建する診療科のエキスパートです

彦根市立病院
形成外科 部長
伊藤 文人



当院の形成外科は、平成14年7月に現在の場所に新築移転したと同時に開設され、現在16年目をむかえています。開設当時のスタッフは2名の常勤医と1名の非常勤医でしたが、現在は4名の常勤医と1名の非常勤医で診療・治療にあたっています。

多く扱っている疾患としては、黒子をはじめとする良性腫瘍や、熱傷や切創・挫創などの外傷になりますが、開設当時より眼瞼下垂症や眼瞼内反症・外反症などの眼窩眼瞼疾患を比較的多く扱い、その後は皮膚排泄ケア認定看護師とともに褥瘡外来を開設し、院内の褥瘡患者のみでなく地域の褥瘡患者に対する診察・治療にも力を入れてやってきました。

最近では下肢の潰瘍患者も増えており、循環器科や糖尿病科、泌尿器科とともに虚血肢や糖尿病性足潰瘍、透析患者の足病変にも対応しております。

また、昨年からは非常勤医を迎え、乳がん患者に対する乳房再建治療も開始いたしました。

形成外科で扱う疾患は様々であり、その治療法も手術や、レーザーであったり、また圧迫や矯正器具を用いた物理的な治療であったり様々です。その状態に応じた適切な治療ができるよう心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。



目力アップ! 若返り、視野が広がる!

その症状・・・『眼瞼下垂』かも?

2

2018

◆眼瞼下垂とは

本来の眼瞼下垂とは正面視で上眼瞼縁が瞳孔にかかっている状態です。しかし、瞼が下がるだけではなく、前額部にしわを寄せ眉毛を拳上することによって代償している場合や、顎を上げてものを見て代償している場合もあります。その結果、眼窩部が陥凹したり、筋緊張のせいで頭痛や肩こりの原因となることもあります。先天的に、生じることもあります。多くは加齢変化として起こってきます。つまり、中年以降の男女に多くみられるものです。

眼瞼下垂は、単に美容的な問題ではなく、体全体に色々症状を引き起こします。日常生活にも支障をきたすような方には、手術をお勧めいたします。



◆当院の状況

手術方法は、①挙筋前転法(皮膚切除も含む)②皮膚切除法のみ③前頭筋つり上げ法です。

当院に来院される患者さんの多くは、眼瞼挙筋と瞼板・皮膚との結合が緩み生じる加齢性眼瞼下垂症です。

挙筋機能は良好であることがほとんどであり、退行した挙筋腱膜を前転させ瞼板に縫着する挙筋前転法を行います。

《当院の手術件数(2015年～2017年)》

	2015年	2016年	2017年
挙筋前転法(皮膚切除も含む)	44眼	76眼	67眼
皮膚切除法のみ	5眼	6眼	17眼
前頭筋つり上げ法	4眼	4眼	4眼
全数	53眼	86眼	77眼

**ぜひご紹介を
お願いします!**

瞼が下がっている!
頭痛・肩こり、前額部のシワが気になる方! 彦根市立病院、形成外科に紹介を宜しくお願いします。

◆当科部長も手術しました。(挙筋前転法のみ)

★Before

通常の正面視では瞼縁が瞳孔に少しだけかかり、軽度下垂を認めます。目をしっかり開けようとする、前額のしわ、眉毛拳上が生じます。



★After



下垂が改善し、重瞼ラインも自然です。見た目も若返ります。

手術について

原則、片目は外来手術、両目は一泊二日の入院です。(片目でも入院希望をされる場合は、相談させていただきます。)

手術時間は1時間から1時間半。手術後は完全に眼瞼腫脹がなくなるまでに、3ヶ月～6ヶ月かかります。その間は、外来フォローとなります。

保険適応の疾患です。

彦根市立病院では平成29年6月に施設認定を受け、 乳房再建手術を行っています。



自分らしく生きていくために 乳房再建は選択肢の一つ！

近年芸能人の影響などで、乳癌に注目が集まっています。
2016年の発表では、女性の癌罹患率の第1位が乳癌で、11人に1人が乳癌になっているという統計結果でした。

乳房切除後の患者さんから「首元の開いた服が着れない」、「人目が気になって温泉に行けない」、「女性としての自信を失った」といった意見を聞くことがあります。

そのように乳癌の手術をして、つらい思いをしている患者さんの選択肢の一つとして、乳房再建術を考えていただけたらと思います。



- ◆ 日本形成外科学会 専門医
- ◆ 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
- ◆ 乳房再建エキスパンダー/インプラント 責任医師

田中 義人

乳房再建って？

乳がん治療によって失ったり、変形した乳房をふたたび取り戻すことです。治療のための犠牲とはいえ、がん治療での精神的負担に加え、外見の変化に伴う喪失感は決して小さなものではありません。乳房をできるだけきれいに残すことは決して贅沢ではなく、自信をもって自分らしく生活するために必要な選択肢です。よりきれいな「乳房再建」には、形成外科の力が不可欠です。

乳房再建っていつできるの？

乳房再建を行う時期により2つに分類されます。1次再建・2次再建です。

当院は、2次再建を行っています。乳がん手術後、時期を置いて乳房再建を開始。基本的には、期間の制限はなく、過去に乳がんの治療を受けた方も再建を検討できます。乳がんの手術とは異なった施設で、再建を受けることができます。



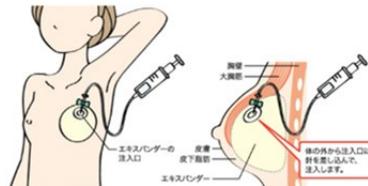
再建方法

乳房切除から時間を置いて再建手術を行う場合、まずティッシュエキスパンダーを挿入して、皮膚を伸展させます。その後、穿通枝皮弁・広背筋皮弁などの自家組織再建、もしくはシリコンインプラントを用いた再建を行います。

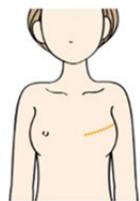
どちらの手術を行うかは、患者さんの希望・診察などを合わせて決定していきます。



①乳がんの手術後に、ティッシュ・エキスパンダーを挿入する。



②エキスパンダーに生理食塩水を注入する。
約2週間ごとに1~6か月かけて追加注入する。



④乳房の傷を閉じて完了。



③皮膚とその周辺組織が十分に伸びたら、同じ傷あとを切開し、エキスパンダーとインプラントを入れ替える。

人工乳房



ティッシュエキスパンダー
(組織拡張器)

	実施人数	手術内容
8月	1	ティッシュエキスパンダー挿入
9月	1	ティッシュエキスパンダー挿入
10月		実施なし
11月	1	ティッシュエキスパンダー挿入
12月	1	乳房縮小術

堂々と、スポーツクラブ・温泉に行ける！
服を脱いだ時に乳房があると精神的に楽！
パットを入れたときの、あせもに悩まされなくなった！



【患者さんの声】

手術について

	自家組織による再建	インプラントによる再建
手術時間	4～10時間	2～3時間
入院期間	10日～2週間程度	5～7日程度
傷痕	新たに組織をとった部分に残る	乳房切除後の傷跡を利用
体への負担	比較的大きく、社会復帰まで時間かかる	比較的小さく、社会復帰が早くできる
仕上がり	下垂など、より自然な形 柔らかく、体温を感じる 姿勢によって形が自然に変化する 完成すれば、メンテナンスが不要	下垂などの形を作るのは難しい やや硬く、体温を感じにくい 姿勢によって形が変化しない メンテナンスが必要(約10年毎の入れ替えなど) ピッタリの大きさが無い可能性あり
合併症	感染 皮弁壊死 血栓など	感染 被膜拘縮など
費用	共に保険適用	

検診・診断・治療・乳房再建まで
一貫した医療を提供しています

◆乳がん看護認定看護師による「乳がん看護外来」

患者さんそれぞれの生活やご希望を踏まえて、乳房再建に関わる相談もお受けしています。

◆岡本医師を中心に診察を担当しております

外来診察日：火・木・金
乳房再建手術の説明に時間を要しますので、地域連携を通して予約を取得して頂くとスムーズです。
また、毎月第2月曜日(変更する月もあります)
田中義人医師の診察・手術を行っています。
ご質問等ありましたら、お気軽に形成外科外来までお問い合わせください。



彦根市立病院 地域医療連携室
業務時間：月～金曜日：午前8時30分～午後7時（但し木曜日は17時15分）
土曜日：午前9時～午後1時
連絡先：地域連携室 TEL0749-22-6053(直通) FAX:0749-22-6093